

# 琉球大学学術リポジトリ

## 日米関係（沖縄返還） 53

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43851">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43851</a>

福田防衛市長官・マクナマラ国防長官（昭三九、六、三〇）

極秘

主管課長へ  
本電主管、配付先等に関し御意見あれば直ちに電信課板関班に連絡をう

電信写

T A 19447  
64年6月30日 時 着  
64年07月01日 0946 時 着

外務大臣殿  
ワシントン 武内 大使 総領事 領事

件名 フクダ防衛庁長官のマクナマラ長官との会谈要旨(報告)

第1640号 暗  
30日午前フクダ長官はマクナマラ長官と約50分にわたり会谈した(マックノートンISBA担当次官補、ソルバート同副次官補、ミワ官房長、ウカワ書記官通訳)会谈要旨次のとおり。  
1. アジア情勢  
マ長官 アジアの状況(特にベトナム)につき日本政府及びフクダ長官の評価とその対策を承知したい。  
フクダ長官 日本政府としてはシナ事案のにかい経けんから武力の行使のみではアジアの問題は解決しないということを知っており、特に戦後新に独立した諸国のナショナリズムは無視できないと考えるところ、米国の行動につい

極秘

主管課長へ  
本電主管、配付先等に関し御意見あれば直ちに電信課板関班に連絡をう

電信写

ては共産じん営のこうみようなせん伝活動からぎやく効果を生じている面もあり、米固ないし自由じん営のアジアにおける目的ないし政策目標を明確にする必要があると考える。この意味で最近のテラー大将の大任任命は米国のだんこたる決意を示すものとしてかん迎するところであり、かつ米固が自由諸国の努力をけつ集してベトナム等アジアの問題の解決に当らうとしていることは極めて大事なことでありかん迎するところである。  
マ長官 仮定の問題として共産勢力がベトナムを席けんした場合のえいきようはいかん。  
フクダ長官 タイ国の独立、マレーシア地区の不安定、朝せんへのえいきよう等しようぎだおしの結果とならうか。  
マ長官 その場合朝せんにおいて中立化の動きが高まり、米軍引あげ等の要求が起つた際日本へのえいきよういかん。たとえば中共貿易増大といった圧力がかかりうるか。  
フクダ長官 日本国内における基地反対ひいは日本を非武装化するとき左よくのけい向が強くなる。また中共は政治的配慮からアジア地区において低価格の売込みを策しており日本としてはアジア地区からの締出しをくうおそれもあるべくわが国としてはたん的にいつてベトナム情勢は対がんの火事とは考えられない次第で、全力をあげて

- (配布先印)  
自 房  
外 務 次 官 長  
文 書 室  
人 文 室  
こ 法 務 室  
東 中 西  
保 南  
東 西  
参 調 員  
技 術 系  
協 助 員  
情 報 系  
文 書 系  
文 書 室  
文 書 室  
文 書 室  
文 書 室  
文 書 室  
文 書 室



極秘

主管課長へ

本電主管、配付先等に関し御意見あれば直ちに電信課検閲班に連絡ごう

電信写

米側と協調したい意向ではある。しかしそつ直にいつて憲法上及び国内与論及び政治上の制約も多く、わが国がこうけんしうるところは限られているといわざるを得ない。中共貿易については中国市場が限られておりかつ中共の外貨準備が少い等の事情があつてその実施は現在も大したことはなく別問題と考える。

マ長官 ベトナム問題は米国自体よりもむしろ太平洋諸国特に日本にとって重要であると考え。ただ今の見解に接しかんしやするところである。

2. 憲法改正、日本の軍事支出問題

マ長官 憲法第9条の改正の動きありと承知しており、かつこの動きは日本の経済的実力に比較して極めて小さいと米側は見ている。日本の軍事予算の増大と関連して極めて重要と考えられるがこれらの見とおしいかん。

フクダ長官 そつ直にいつて第9条は日本をじやく体化する占領政策の遺産であり朝せん戦そう後警察予備隊保安隊自衛隊と段階を経るに従つて、実質的に変更が加えられており、法的にも憲法調査会は改憲の意見具申をすることが予想されている。また最近の与論調査でも改憲さん成の動きが増えつつある。

わが政府としては年年予算増額の形で防衛力を強化する所存である。以上の関係でMAPの減額により国内的にも防衛生産を自ら行なうべきとの見解が強まりつつありこれは

極秘

主管課長へ

本電主管、配付先等に関し御意見あれば直ちに電信課検閲班に連絡ごう

電信写

物的面からの防衛意しきの強化と考えるが、わが国としてはできる限り国産化努力を強化する意向のところ、たとえばホークの国産化のごとく米側から技術的協力を期待したくDABHのように真に国産化しえない品目については引き続き米側からの提供を得たい。

マ長官 米側としては日本との協力をおしむものでなくホークに限らずその他の技術提供による共同生産についてはあらゆるべんきを計りたい。

MAPの継続については御承知のとおり困難であるが、MAPを通じ御協力いたしたい。

3. マ長官招待の件

フクダ長官 イケダ総理よりの伝言であるがマ長官を日本に御招待したい。

マ長官 大変こうえいであり今後ノ年位の間に日本国政府の都合のよい時期に訪日いたしたい。

フクダ長官 これはし見てあるが、経済かくりよう会議とへい行して必ずしも同時期である必要はないが防衛問題に関してもかくりようレベルのこん談の機会を持つことは世論けいもうの見地からも好ましいと考えるので米側で取り上げる意向があれば研究したい。

マ長官 米側としても十分考慮したい。

4. オキナワ問題

フクダ長官 イケダ総理よりの伝言であるが、最近のオ

極秘

主管課長へ

本電主管、配付先等に関し御意見あれば直ちに電信課検閲班に連絡ごう

電信写

キナワにおける動き、反米感情は、日本安保体制の「かん」として重視しているオキナワの軍事基地としての有効性を減さつするおそれあり十分日本側と御相談ありたい。

マ長官 在京米大使館等を通じイケダ総理はじめ日本側の考えについて承知する様努力したい。

5. オガサワラ問題

フクダ長官 し見てあるが最近ソ連中共等におけるぼ参実現の動きにかんがみ、オガサワラのぼ参実現につき配慮を得たい。

マ長官 十分配慮することとしたい。

6. ミカサ艦クロノメーター返かんの件

マ長官より1945年在日米軍かん視員が在中ぼつしゆうした軍艦ミカサのクロノメーターをぼう海軍高級かん部を通じ日本へ返かん方を申し出て数日前自分の手もとにとどいたのでこの機会に御渡しいたしたい。との申出があり該クロノメーターを手交されたのでフクダ長官より保存会(ミカサ)に渡す様取計いたい旨を述べておいた。

(了)